

## Google 社は Chrome79 から混合コンテンツを段階的にブロックすると発表

Google 社は 2019 年 10 月 3 日にセキュリティブログで混合コンテンツを段階的にブロックすると発表しました。(参考:Google Security Blog「[No More Mixed Messages About HTTPS](#)」)

このブログでは、「安全な通信を行う https でも通信が暗号化されていない http からサブリソースが読み込まれている、混合コンテンツ(Mixed Content)の状態ではユーザーのプライバシーとセキュリティが脅かされる」と指摘しています。この混合コンテンツの状態だと、攻撃者は混合コンテンツの画像の改ざんやロード中に追跡 Cookie の挿入ができるとしています。

今後リリースされる Chrome で混合コンテンツを警告・ブロックする機能が徐々に実装されていく予定とのことです。Web 運営者の方々は Chrome での実装前に混合コンテンツの状態を解消しておくことをおすすめします。

リリース予定	
Chrome79 (2019 年 12 月)	Chrome78 など以前のバージョンでは URL バー(アドレスバー)の横に混合コンテンツのブロックを解除できるアイコン(盾マーク)があった。Chrome79 ではアイコン表示をなくし、Chrome の「サイト設定」画面に同機能を移設
Chrome80 (2020 年 1 月)	混合コンテンツの動画、音声を自動的に https で接続し、読み込めない場合はブロック 混合コンテンツの画像は引き続き表示されるが、URL バー(アドレスバー)に「保護されていない通信」と警告を表示
Chrome81 (2020 年 2 月)	混合コンテンツの画像も自動的に https で接続し、読み込めない場合はブロック

### 混合コンテンツの確認方法と対策

#### 確認方法

https の Web ページにアクセスして、Chrome の URL バー(アドレスバー)をご確認ください。

以下の画像のような表示がされていれば混合コンテンツと判定されています。



#### 対策

Chrome デベロッパーツールで混合コンテンツ箇所が示されます。(※)

該当箇所の HTML を修正すると混合コンテンツの状態は解消されます。

特に気をつけたいポイントは 3 つです。

- ・画像・動画を読み込む URL
- ・CSS を読み込む URL
- ・JavaScript を読み込む URL